

第 20 回タジキスタン日本語弁論大会 開催



2026年2月28日、タジク国際外国語大学において、第20回タジキスタン日本語弁論大会が行われました。大会は、在タジキスタン日本国大使館とタジキスタン日本語教師会の共催、タジキスタン国際外国語大学の協力、JICA タジキスタン事務所の後援により開催されました。なお、AAR Japan 事務所、T&J Consulting、Sapporo から賞品提供の協力をいただきました。

開会式において、古田恵子大使は、日本とタジキスタンの相互理解促進と友好関係強化のために本大会が重要であると述べた上で、出場者たちの健闘を祈念しました。

タジク国際外国語大学のグルナザルゾダ・ジロ学長による開会挨拶では、現時点で外国語大学から6人が日本の3大学へ交換留学中であり、大阪大学ペルシャ語学科4年生植村勇太氏がタジク国際外国語大学へ半年留学中であるなど、日本の大学との学術協力が進んでいる点が強調されました。

た。学長は、2025年12月のエモマリ・ラフモン・タジキスタン大統領による日本訪問が教育分野での両国関係の強化に繋がったこと、サディフスラムヴァ・アンゲリーナ日本語講師が2026年3月短期の日本語教育能力向上研修に参加すること、2026～2027年に東京外国語大学から2名の交換留学生が派遣されることにも言及しました。

会場では、タジク国際外国語大学、ロシア・タジク・スラブ大学、寄宿学校「ホタム P.V.」、日本語・日本文化学習センター「ココロ」から26人の出場者が練習の成果を披露しました。在留邦人を含む約100名の聴衆が来場しました。出場者の発表とアトラクションの後の閉会式では、5審査員による審査結果に従って、以下の入賞者に賞状と賞品が授与されました。

● 弁論の部（中上級）

優勝：サブザリエワ・シュクロナ（タジク国際外国語大学）

準優勝：カリモワ・シャフゾダ（タジク国際外国語大学）

第3位：クルボノフ・ティムル（ココロ）



● 弁論の部（初級）

優勝：コディロフ・アリジョン（ココロ）

準優勝：マフマドラヒムゾダ・ファリドゥン（タジク国際外国語大学）

第3位：イスモイロフ・ナズリ（ココロ）



審査員特別賞：ハビエワ・リアナ（ココロ）

● 暗唱の部

優勝：ザイドフ・シャフロム（ココロ）

準優勝：カノアト・シミン（ココロ）

第3位：ムバリエフ・ダヴド（タジク国際外国語大学）



弁論の部（中上級）の優勝・準優勝者は、2026年5月にキルギス・ビシュケクで開催される中央アジア 日本語弁論大会に出場します。